

平成25年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	児童福祉施設整備費(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 大野 秀敏	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	社会福祉施設等災害復旧費の国庫補助について(平成24年11月19日厚生労働省発社援1119第3号厚生労働事務次官通知)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被災した施設の災害復旧に関し、厚生労働大臣に協議して承認を得た災害復旧事業に要する費用の一部を補助することにより、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災を受け、被災した児童福祉施設等の復旧事業について、実地調査を行い被害額を確定した上で、その復旧に要する経費の一部を補助する。 国庫補助率の引き上げ 1/2 → 2/3(例:児童相談所など) 1/3 → 1/2(例:児童厚生施設など)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他					
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		当初予算	-	-	3,302	1,241
		補正予算	11,771	-	-	-
		繰越し等	△ 10,382	10,041	341	-
	計	1,389	10,041	3,302	1,241	
	執行額	1,251	796	-	-	
執行率(%)	90.1%	7.9%	-	-		

括弧内は厚生労働省が計上した同様の事業の予算額を参考記載しているもの

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は災害復旧に必要な事業であり、成果目標を設定することは馴染まない。	成果実績	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	交付決定施設数	活動実績	-	718	22	-
		(当初見込み)	(953)	(235)	(33)	-

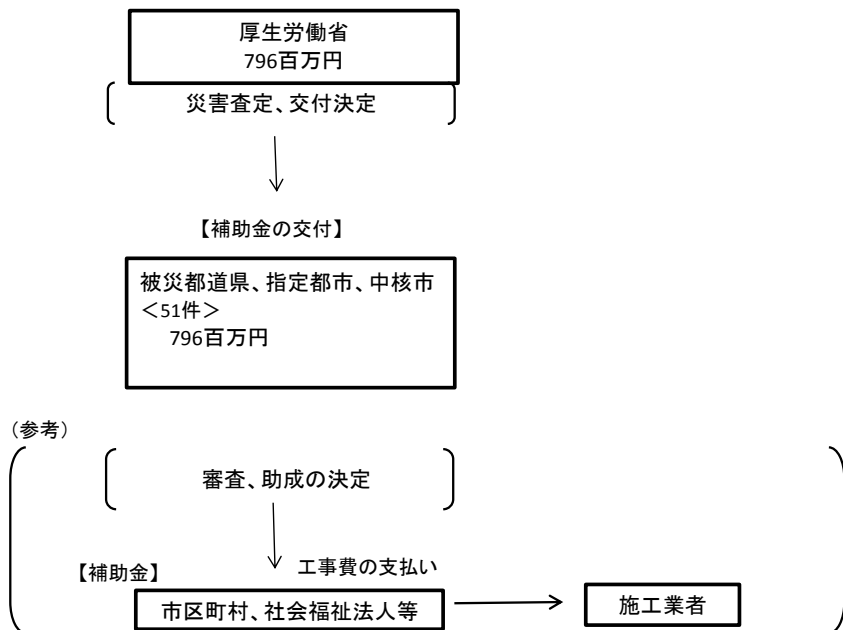
単位当たりコスト	2,766千円 (2,047百万円/740施設)	算出根拠	執行額を交付決定施設数で除して算出
-----------------	--------------------------	------	-------------------

平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由
	社会福祉施設等災害復旧費補助金	3,302	1,241	
	計	3,302	1,241	

東日本大震災で被災した児童福祉施設等の復旧に必要な経費として、平成26年度に着工予定の災害復旧事業について、対象自治体に聞き取り、計上。

事業所管部局による点検					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	児童福祉施設等の災害復旧に要する費用を補助するものであるため、国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方自治体や社会福祉法人等が設置した施設が被災した場合に補助を行うものであり、国が支援する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	児童福祉施設等の災害復旧に要する費用を補助するものであるため、国民のニーズがあり、優先度も高い。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	施設の設置者負担を求めている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	被害状況により異なるため、単位あたりコストの水準の妥当性については、一概に判断できない。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	老朽化等、被災箇所以外の整備は査定により対象外としている。	
事業の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	各自治体の復興計画が遅れたことにより移転協議が未定であること、また工事従業者の不足等による労務管理費などの高騰に伴う入札不調により復旧工事が開始できなかったことなどから、想定した所要見込み額が大きく下回ったため。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	施設の復旧費の一部を補助するものであるため、効果が高い。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	被災施設数をもとに見込みをたてているが、各自治体の復興計画等の問題より見込みを下回ったもの。	
重 複 排 除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	震災以前に使用されていた施設の復旧に係る費用であるため、整備された施設は十分活用されている。	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
点 検 結 果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
東日本大震災で被災した児童福祉施設等の復旧事業経費については、平成23年度補正予算等で措置し、これまで740施設に交付決定を行ったところであり、災害の速やかな復旧を図り、もって施設入所者等の福祉を確保するために、本事業の実施が必要である。なお、復興計画の遅れなどにより、これまで復旧工事を開始できなかった施設も未だに残されており、今後も財政支援が必要であることから、本事業の実施は必要である。					
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通 り	被災した児童福祉施設等の復旧のため、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き適切な予算執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	引き続き適切な予算執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年		平成24年	46-2

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A. 仙台市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	災害復旧に必要な経費	263			
計		263	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	仙台市	災害復旧に必要な経費	263		
2	茨城県	災害復旧に必要な経費	171		
3	宮城県	災害復旧に必要な経費	116		
4	いわき市	災害復旧に必要な経費	80		
5	福島県	災害復旧に必要な経費	72		
6	千葉県	災害復旧に必要な経費	45		
7	青森県	災害復旧に必要な経費	33		
8	栃木県	災害復旧に必要な経費	5		
9	長野県	災害復旧に必要な経費	4		
10	岩手県	災害復旧に必要な経費	2		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					